

河合塾・大竹先生による

## 先生方のための徹底入試対策講座

## 第138回 共通テストから立ち直る！

前は、共通テストについて考えましたが、共通テストの行われる時期ですね。例年のことながら、当日は寒くならないように、と願う次第です。また、それまでにコロナの大きな感染が広がらないか、近年忘れがちなインフルエンザははやらないか、と気がかりです。共通テストで、すべての受験生が、この1年間の勉強の成果を十分に出してくれることを、願っています。

さて、共通テストが行われたあと、リセットし共通テストから2次試験へと立ち直るのも、受験生にとっては大変なことですね。



## 1 共通テストから立ち直る

共通テストから立ち直る——これは、共通テストがうまくいかなかった受験生の話ではありません。逆に、共通テスト対策をじっくりと行い、それなりに得点を取った諸君のことです。

それなりに得点を取った共通テストのあと  
スランプに陥る人が少なくない

のです。2次向けの問題をやろうとしてもさっぱり解けない！考えようとしても考える気力がわかない。...

無理もありません。それまでの1～2ヶ月は専ら共通テストの穴埋め問題対策をしてきたのですから！それだけではありません。太郎さん、花子さんの登場に慣れておかねばならない、そもそも2次とは違う発想法での勉強を強いられてきたのです。とりわけ、共通テストの穴埋め問題になじまない数学では、このような「スランプ」が顕著に現れる生徒が少なくありません。怖いのはそれで自信を失うことです。単なる一時的なスランプですから、確実に脱却できます。

そのための対策はそんなに難しいことではありません。

- ・ 受験生本人が自分の状況を認識すること
- ・ 2次向けの勉強を多く続けること
- ・ 2次まで十分時間があると楽観すること

ですね。



スランプに陥ってもそれに気付いた生徒はまだラッキーです。それにも気付かないまま、調子がなんか変だなと不安な気持ちで2次試験に突入する生徒もいます。注意したいものです。

## 2 立ち直りつつ、2次向けの対策は

では、立ち直った後、或いは、立ち直りつつ、2次向けの勉強となりますが、やるべきことは？ 共通テストが終わってから2次試験まで40日余りあります。ちょうど高校の夏休み分ぐらいは

残っています。受験勉強の期間は10カ月ぐらいですね。まだその15パーセントぐらい残っています。まだまだ新しいことを学び、学力を伸ばす期間です。まとめや知識の整理も大切ですが、それだけでなく積極的に新たなことも学ぶ姿勢は必要です。

受験生たちは、受験する大学の過去問と、これまでに勉強してきた、テキストや問題集の復習が気になるようです。もちろんそれも大切なことですが、とくに苦手な分野、不安な分野が残っていることも少なくありません。集中的にある分野を攻略するのに「何をすればいいですか？」という質問はよく受けます。例えば、参考書を問題集のように演習に使うのですから、まずは解答を見ないで解いてみる、そのあと解答、解説を熟読する、という具合ですね。ここでも注意しなければならないのは、全部をやろうと思わないこと、あくまで苦手分野対策です。このレベルでいいの？という質問も受けることがあります。苦手な分野は、易問が出来なかったときに困るのです。難問は差にならない、くらいのおおらかさでまずこのレベルを確実にすることが先決ですね。



受験生の諸君が、納得のいく受験ができること、そしてその後もうんと頑張って勉強を続けられることを願っています。

学校法人河合塾 数学科講師 大竹真一